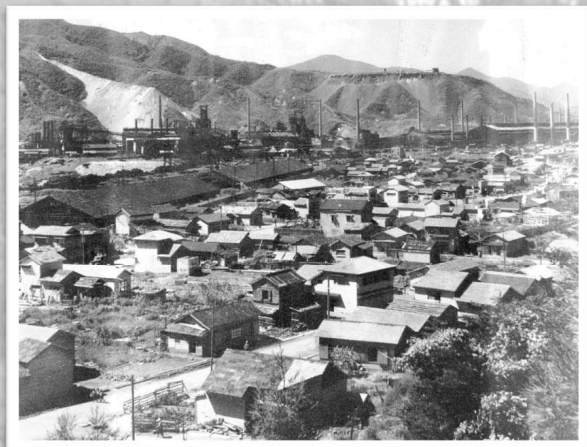
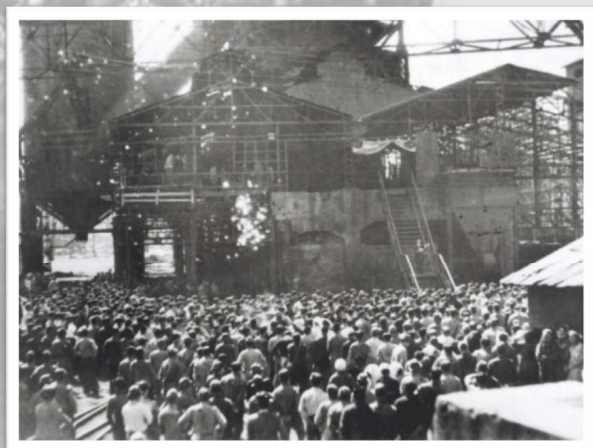


令和8年度 艦砲戦災展



# 戦火から 立ち上がった釜石 ～戦災と復興の記録～

令和8年7月10日(金)▶▶▶9月6日(日)



## 釜石市郷土資料館

〒026-0031 岩手県釜石市鈴子町 15-2

電話/FAX 0193-22-2046

E-mail kyoudo@city.kamaishi.iwate.jp

■入館料 大人 200 円/団体 100 円(20 名以上)

※高校生以下、障がい者手帳をお持ちの人は無料

■休館日 火曜日 **※7月14日(火)特別開館**

■開館時間 9 時 30 分～16 時 30 分(最終入館:16 時)

## ～戦火から立ち上がった釜石～ 戦災と復興の記録

本年は太平洋戦争の終戦から81年になります。釜石は終戦間際の昭和20年に、本州で初めて、そして2度にわたる連合軍の艦砲射撃の攻撃を受けました。

そうした惨禍に見舞われながらも、釜石は釜石製鉄所を軸にした街の復興に取り組みました。

### ◇食糧難との闘い

終戦は困窮生活との戦いの始まりでもありました。極端な物資の不足、食糧の不足は市民生活を脅かしました。

釜石は農作物を作るための耕地が少なく、終戦当時、食料の確保は買い出しに頼るほかはありませんでした。そのため難所の仙人峠を越え、遠野・花巻方面に買い出しに行きました。



『仙人峠を越える人々』

### ◇戦後復興

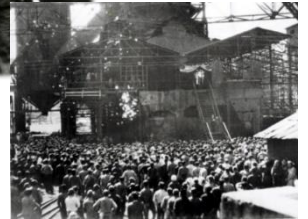
昭和20(1945)年8月15日、日本はポツダム宣言を受諾し、終戦を迎えました。

昭和22(1947)年8月8日には、昭和天皇が釜石に巡幸、市内や製鉄所などを視察し、市民を激励しました。

翌年の昭和23(1948)年5月15日、壊滅的な被害を受けた釜石製鉄所の第10高炉に再び火が入り、「鉄都・釜石」再興が始まりました。



『昭和天皇の巡幸』



『第10高炉 復興の火入れ式』

### ◇国鉄釜石線全線開通

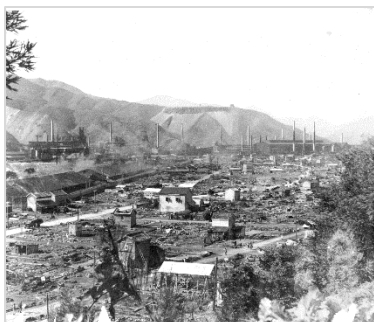
昭和23(1948)年のアイオン台風により山田線が寸断されました。

これによって内陸部との鉄道を絶たれた釜石は、再び「陸の孤島」となり、釜石線の即時着工を求めました。

粘り強い交渉が実り、昭和23(1948)年12月に着工、昭和25(1950)年10月10日、ついに釜石線が全線開通となりました。

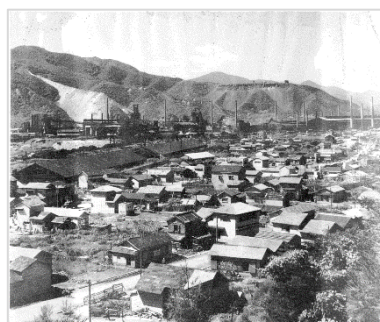


『全線開通を祝う市民』



『被災した市街地と

一年後の市街地』



『進駐軍による不発弾の回収』